

まへがき

昭和六十二年八月

石井勲

「文部省は『科学を尊重せよ』と言ひながら、科学を尊重するとはどういふ事なのかを知らないやうだ。なぜなら、石井君の実証に^{もとづ}基く提言を認めようとしないからである」とおっしゃって、岡潔先生が文部省を^せ責めたのは、昭和三十七年、先生が数学における世界的な業績により文化勲章を受けられた年の事であったかと思ひます。それからもう二十五年の月日が流れましたが、事情はほとんど変つてゐません。

文部省が“幼児の漢字教育”を認め、全国の小学校が“正書法的表記法(“学校”を“がっこう”と表記せず、最初から“学校”といふ表記を用ひること)”を採用してくれれば、それだけで、今の子供たちは漢字の苦しい学習から救はれるのです。さう思ひますと、今の子供たちが^{かはい}可哀さうでなりません。

しかし、このやうな大変革は、元来非常に難しい事ですから、何十年もかかるのが世の常であります。ゆゑに、それを覚悟して、根気よく、かうしてまたまた書物により世の人々に訴へる次第であります。